

授業科目(ナンバリング)	地域産業の魅力 (CA222)			担当教員	森尾 真之		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本講座は、大学のある地域産業の成り立ちや地域の課題についての理解を深め、その課題解決のために、観光やまちづくりなどを通じた地域活性化のリーダーとして活躍することを目指し、さまざまな企業・団体から派遣される講師から事業の取り組みや実践について学ぶ。また、講師とのディスカッションやレポート作成を通じ、それぞれの活動の背景にある理念や考え方に触れ、社会に貢献し、自分らしい働き方とは何かを考える。							①②⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	自分が関心のある課題については、その背景や担当講師の所属する企業・団体に関してさらに詳しく説明できる。					課題レポート	50%
情報収集、分析力	講師の所属する業界・団体の具体的な取り組みについて、その背景や目的、他での先行事例などについて事前に情報収集し、講義の内容をより深く理解することが出来る。					課題レポート(授業ノート)	10%
コミュニケーション力	(1) グループディスカッションにおいて、他者の発言を傾聴し、同時に活発な意見交換を行うことが出来る。 (2) 講義を通じて生じた関心事や問題意識を、与えられた字数制限内で的確に文書で表現することが出来る。					グループディスカッション報告書	10%
協働・課題解決力	(1) グループディスカッションにおいて、積極的に役割を引き受けることが出来る。 (2) 活発な意見交換を通じてグループとしての結論を出すことが出来る。					グループディスカッション報告書	10%
多様性理解力	地域経済活動における様々な産業がどのように状況にあり、地域の魅力を向上させるためには、どのような組み合わせがどんな価値を創り出すのかを、これまでの事例から理解することができる。					課題レポート	20%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
(1) 指定の授業ノートの記載と期末課題レポート(配点合計80%)では、毎回の講義のポイントを授業ノートに記載し、自分が特に関心を持った地域課題について、自分自身の問題意識と考えられる方策についてレポートとして記述することを求める。 (2) グループディスカッションにおいては、誰がどんな役割を引き受けたかどうか、そしてグループとしてどんな結論が出たのかについてグループ単位で報告書を作成することを求める。 なお、フィードバックは授業やポートフォリオを通して適宜行う。							
授業の概要							
地域課題や観光・まちづくりに関する現役の実務家である外部講師と旅行業界においてインバウンド観光客招致等を通じた地域活性化の実務経験のある担当教員との協働による実践的な授業である。 (1) 県内外の企業・団体、自治体から派遣された経営管理者、専任担当者がゲストスピーカーとして講義する。 (2) 講義後に行われるゲストスピーカーと担当講師とのディスカッションに指名された学生も参加し、コメントをする。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：なし 参考書：なし(※ただし講義中に講師から推薦される場合もある。) 指定図書：なし 指定図書：「伝えることから始めよう」高田明著 東洋経済新報社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
本講座のために各産業界から講師を招聘しているが、多忙のなかで本学に来ていただく講師への礼儀としても、時間厳守、真摯な受講態度を求める。また講義内容は多岐にわたるが、観光やまちづくりを通じた地域活性化は、あらゆる課題についての見識や教養が必要であることを十分理解したうえで受講し、今後の自身のキャリアを考える上で大切な気づきになるよう、積極的に参加してほしい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	シラバスの説明、長崎県の地域課題の背景やポイントを整理して考える。また、各予定外部講師の簡単な紹介やしかるべき対応態度などの注意点について説明。	シラバスを事前読み込んでおく
2	まちづくりにおけるさまざまな行政の役割①	佐世保市におけるさまざまな部署とそれぞれの地域課題への取り組みについてまなぶ（ゲストスピーカー・実務家）	佐世保市のHPで佐世保市にどんな部署があるのかを調べておく。
3	まちづくりにおけるさまざまな行政の役割②	少子化および高齢化に関する取り組みについて、移住促進や若者定住施策、地域コミュニティ活動支援についてまなぶ（ゲストスピーカー・実務家）	自分の生活環境について良い点と悪い点を書き出しておく
4	地域の会社ができる価値創造①	都会ではなく「地域の会社だからできること」でどんな価値を生み出せるのかについて。（ゲストスピーカー・実務家）	自分の地域で誇れるものとその理由を考える。
5	地域の会社ができる価値創造②	地域に根差す企業が、利益優先ではなく、持続した社会貢献をビジネスの多角化につなげていくべきかを学ぶ（ゲストスピーカー・実務家）	地域で困っていることについてどんなことがあるか具体的に考える
6	地域の会社ができる価値創造③	地域と都会との比較において語られる「豊かな暮らし」と定住人口の増加につながる取り組みについて学ぶ（ゲストスピーカー・実務家）	都会と地域の暮らしにはどんなメリット・デメリットがあるかを考える。
7	長崎県の地域課題について	長崎県における産業面の課題と、それに対する対する官民、産官学の取り組みについて（ゲストスピーカー・実務家）	長崎にはどんな有名企業があるか調べておく。
8	地域のブランド化の取り組み	地域の第一次産業の継承と農産品や水産物のブランド化の取り組みについて学ぶ。（ゲストスピーカー・実務家）	地域の産品をどんな人が喜んでくれるかを考える。
9	長崎から世界へ	歴史的な国際交流の積み重ねと、アジアへの地理的優位性を生かした地域経済の活性化への取り組みについて学ぶ（ゲストスピーカー・実務家）	身近にあるもので海外と関係の深いものを考える。
10	地域の魅力を活かした観光の仕事について	地域内での需要の創出とインバウンド（着地型観光）ビジネスについて学ぶ（ゲストスピーカー・実務家）	外国人旅行者に人気の場所とその理由を考える。
11	地域観光と教育について	観光資源の持つ魅力や歴史が、あらゆる年代の旅行者に対しての「学び」や「体験」となる体験型のプログラムについて学ぶ。（ゲストスピーカー・実務家）	これまでの個人旅行や学校旅行で自分の学びになったことを考える。
12	佐世保の観光について	県北の観光拠点である佐世保市の観光について学ぶ（ゲストスピーカー・実務家）。	佐世保における観光データを市のHPで確認する。
13	グループディスカッション	これまでの学びについて各自課題設定を行い、グループディスカッションで発表し、他の発表者の参考になった部分をレポート提出する。	自分が設定する地域課題についてその理由を明らかにしておく。
14	経済と自分たちの暮らしについて	豊かな暮らしと収入は比例するのか、地方と都会はどうなのか、自分らしく働くとはどういうことなのかを考える（ゲストスピーカー・実務家）	自分の生活におけるお金の使い方について考える。
15	授業の振り返り	課題レポートとルーブリックについて説明する	これまでの授業ノートを振り返る。